

ひろしまええとこ通信

前号に引き続き、広島市各区のええとこを担当生活支援コーディネーターから報告します!!

地域のええとこ紹介コーナー「Wa!それええね!!」

佐伯区 ～「やってみたいこと」から“気軽に”“楽しく”つながっていく～

サロンの世話人さんから「参加者が増えない」「男性が少ない」「担い手がない」という相談が多くあります。そんな中、佐伯区の薬師が丘団地で男性が多く集まるサロンがあると聞いて、何かヒントがあるのではないかと思い、お邪魔してきました!

■サロン基本情報■

- * サロン名: そば打ち同好会
- * 活動場所: 第一薬師が丘集会所
- * 活動日: 月2回 10:00~12:00
- * 活動開始: 令和2年8月
- * 参加者: 12名(うち10名が男性。
もちろん女性も大歓迎!)



* 活動内容: 2か所のテーブルに分かれ、それぞれ主に1人がそばを打ちます。その他の参加者は、道具を支えるのを手伝ったり、使い終わった道具を片付けたり、そばを打っている人に合いの手を入れます。コーヒーを飲んで談笑した後は、打ったそばをみんなで分け、各自が持参した容器に入れて持ち帰ります。(新型コロナウイルスの感染が収束したら、打ちたてのそばをみんなで食べる予定だそうです!)



立ち上げのきっかけは、「そばを打ってみたい」という人がいたから。ほとんどの方がこの会に参加して初めてそばを打った初心者で、アドバイスをしあいながら、和気あいあいと活動されています。



そばの打ち方はYouTubeを参考になっているよ!

打ちたてのそばを食べに、友人が家に遊びに来るよ!



この会は、薬師が丘のシニアクラブ(※)を中心に立ち上げられていますが、地域の誰でも参加できます。団地内にはこの他にも、百歳体操やグラウンドゴルフの活動をはじめ、団地近くの山に登る山登りの会(開催回数が2000回を突破したとか!)、畑のサロンなど、地域にあるものを活かした様々な活動があります。代表の平木さんは、「まずは自分のやってみたいことに参加し、そこから新たなつながりづくりができるよう、工夫している」と話されていました。

やってみたいことをやってみる場をつくる、やってみたいことをきっかけとした
つながりづくり、地域にあるものを活かす、**Wa!それええね!!**



佐伯区担当
小澤生活支援コーディネーター

安佐北区 “コロナ禍だからこそ!!” 可部第五公園フリーマーケット開催！

令和4年3月20日(日)可部地区社会福祉協議会の主催で、可部第五公園フリーマーケットを開催しました。高齢、障害、子どもという世代や分野に関わらず、近隣住民が“わきあいあい”と楽しみました！



コロナ禍では、地域のサロンや見守りの実施が難しくなり、お祭り等の地域行事も中止となりました。地域行事等で、パンや茶菓子、絵や編み物等を販売していた地域の作業所にも大きな影響を与えるとともに、地域での住民同士の交流の機会も極端に減りました。そのような状況から可部地区社会福祉協議会では、世代や分野に関わらず、住民同士が交流し、楽しめる場を作ろうと考えました。

今回は“35ブース”24団体(もしくは個人)から出店がありました。“地域の達人”による手作りぞうりやアクセサリー、置物等の出店や複数の作業所から、地域由来の茶菓子や手作りパンの販売等もあり、本当に久しぶりの地域行事にみなさん笑顔で、とても楽しそうにされていました。

👉豆探りゲームが大人気



👉 握力測定中

安佐北区社会福祉協議会からも、三入・可部地域包括支援センター、安佐北区役所厚生部地域支援あい課との合同で高齢者よろず相談ブース、栄養・運動展を出展しました！

コロナにより、このような行事もなかなか開けない状況はこれからもしばらくは続きそうですが、地域生活は止めることはできません。感染対策を徹底しながら、“新たな日常”としての地域生活を地域と共に考え、共に創っていければと思っています。



安佐北区担当
加納生活支援コーディネーター

<各地で実践されている『ええところ』をお寄せください！>

地域活動に関する耳寄りな情報を教えていただき、定期的に発信していくことで、「ひろしまのええところ」をみんなで共有できる情報紙を目指します。耳寄り情報は、市・区社協にいる生活支援コーディネーターへご連絡ください！

発行：社会福祉法人 広島市社会福祉協議会 地域福祉推進課 地域福祉係
〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 広島市総合福祉センター内
Tell：082-264-6413 FAX：082-264-6413
Eメール：chiiki@shakyohiroshima-city.or.jp

